

**【科目名】 形態機能学 I 【1単位】 【30 時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

人体を構成する細胞、人体の形態と機能(消化器系・血液・造血器系)を学び、看護の専門基礎知識とする。

- 1 正常な人体の構造と機能を学習し、人体を構成している各器官が互いに協調して働いていることを理解する。
- 2 生体が示す生命現象のうちの人体の構造と機能を学び、人体の活動は全体として統一のとれた働きをなしていることを理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	総論・
2	細胞の構造と機能
3	機能から見た人体
4	栄養の消化と吸収(消化器系)
	口・咽頭・食道の構造と機能、嚥下のメカニズム
5・6	胃・小腸の構造と機能、消化・吸収のメカニズム
7	大腸の構造と機能、排便のメカニズム
8・9	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能
10	腹膜と内臓の位置関係
11	人体模型を用いた消化器系の形態
12	血液のはたらき(血液・造血器系)
	血液の組成と機能、赤血球・白血球
13	血小板、血液凝固と繊維素溶解
14	血漿タンパク、血液型
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学、医学書院

**【科目名】 形態機能学Ⅱ 【1単位】 【30時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

- 1 正常な人体の構造と機能を学習し、人体を構成している各器官が互いに協調して働いていることを理解する。
- 2 生体が示す生命現象のうちの人体の構造と機能を学び、人体の活動は全体として統一のとれた働きをなしていることを理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	呼吸の意味(内呼吸と外呼吸)
2	呼吸に必要な器官①(空気の通り道と肺)
3	呼吸に必要な器官②(呼吸運動を行う骨筋・血管・神経)
4	呼吸器の位置と呼吸のしくみ
5	呼吸機能検査の意義
6	ガス交換のしくみと酸塩基平衡
7	日常生活の中での呼吸に影響を及ぼす因子
8	心臓の構造と働き①(肺循環と体循環)
9	心臓の構造と働き②(刺激伝導系と心電図)
10	血圧と心音
11	主な動脈と静脈(血管の構造と主要な血管) リンパ系と体温調節機能
12	血圧調節機構と血圧変動因子
13	事例学習 トイレでの意識消失 浴室での意識消失 脱水による意識消失 飲酒による意識消失 下肢の浮腫
14	事例学習発表
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学、医学書院

**【科目名】 形態機能学Ⅲ 【1単位】 【30時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

- 1 正常な人体の構造と機能を学習し、人体を構成している各器官が互いに協調して働いていることを理解する。
- 2 生体が示す生命現象のうちの人体の構造と機能を学び、人体の活動は全体として統一のとれた働きをなしていることを理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	骨の構造と組成
2	骨の発生と機能
3	筋組織の分類と機能
4	筋の収縮
5	神経の構造と分類
6	神経の機能
7	中枢神経の分類
8	脳の構造と機能
9	脊髄の構造と機能
10	末梢神経の分類
11	運動神経
12	自律神経
13	感覚神経
14	感覚器の構造と機能
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学、医学書院

**【科目名】 形態機能学Ⅳ 【1単位】 【30時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

- 1 正常な人体の構造と機能を学習し、人体を構成している各器官が互いに協調して働いていることを理解する。
- 2 生体が示す生命現象のうちの人体の構造と機能を学び、人体の活動は全体として統一のとれた働きをなしていることを理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	腎・泌尿器の構造と機能
2	体液組成と調節
3	排尿路の構造と機能
4	腎臓各部の機能
5	腎臓と生理活性物質
6	恒常性維持機能
7	内分泌系の概念
8	視床下部-下垂体系
9	糖代謝と内分泌
10	カルシウム代謝と内分泌
11	血圧と内分泌
12	生殖器の構造と機能
13	男性生殖器、女性生殖器
14	性周期と胎児の発生
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

坂井 建雄: 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学、医学書院

## 【科目名】 栄養と代謝 【1単位】 【30時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

ヒトを含めて生きているものは、絶えずエネルギーを消費している。そしてヒトの場合、エネルギー源はすべて食事によりまかなわれている。エネルギーは食物(栄養素)を消化することで取り出される。その過程(代謝)はすべて化学反応による。この授業を通して、エネルギーとは何か、ヒトはどのようにして食物からエネルギーを産生し、どう使用(消費)しているのかを理解できるようになる。また病後の回復や病気の予防にかかわる場合では、食事による栄養素の働きを知りそれを管理することの大切さを理解できるようになる。

### 【授業計画】

回	学習内容
1	生化学とは 化学の基礎と水について
2	糖質について(役割と構造)
3	脂質について(役割と構造)
4	アミノ酸(構造)とタンパク質の立体構造
5	タンパク質の立体構造異常による病気 (狂牛病、アルツハイマー病)
6	酵素とは(酵素の阻害剤と薬の関係)
7	アイソザイムと血液検査・核酸(ゲノム)の構造
8	糖代謝Ⅰ:解糖系
9	糖代謝Ⅱ:クエン酸回路から電子伝達系・酸化リン酸化
10	糖代謝Ⅲ:ペントースリン酸回路、糖新生
11	脂質の代謝(分解と生合成)、リポタンパク質
12	コレステロールの代謝、プロスタグランジン
13	血糖値を調整するホルモンと糖尿病の代謝
14	タンパク質の代謝(尿素回路)と核酸の代謝
15	試験

### 【テキスト・参考書】

島山 鎮次:系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能〔2〕、医学書院

**【科目名】 感染と防御 【1単位】 【30 時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

〈科目目標〉

感染現象のメカニズムを学ぶことによって、その防御の重要性と方法を理解することができる。

病原性微生物の基礎を理解することによって、それを今後の看護学の学習に活かせる。

社会におけるリスクとしての感染症を理解することができる。

〈概要〉

看護がかかわる感染症を引き起こす微生物の性質と防御方法を学ぶ。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	微生物学総論
2	細菌類とは
3	消毒、抗生物質
4	免疫学総論
5	黄色ブドウ球菌とその感染症
6	腸内細菌とその感染症
7	院内感染菌の特徴と感染症
8	嫌気性菌その他の感染症
9	真菌と感染症
10	ウイルス学総論
11	インフルエンザ等呼吸器感染症
12	ヘルペスウイルスと感染症
13	HIV とその感染症の仕組み
14	原虫、寄生虫とワクチン
15	試験

**【テキスト・参考書】**

なし

**【科目名】 病理学 【1単位】 【30時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

疾病の原因や経過を身体の形態的・機能的変化から理解する。そして、疾病の診断に必要な臨床検査・画像診断や、治療に関する基本的知識も併せて学ぶ。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	病理学序論； 病院病理部の役割、看護と病理学
2	病因(内因)； 素因、先天異常、遺伝子異常
3	病因(外因)； 環境による疾患、医原病
4	退行性病変； 壊死・アポトーシス・萎縮・変性
5	進行性病変； 肥大・再生・化生・修復
6	炎症； 炎症の定義・種類、急性炎症、慢性炎症
7	免疫； アレルギー免疫不全、自己免疫疾患、移植と再生医療
8	代謝障害； 脂質・タンパク代謝障害、糖尿病、黄疸
9	循環障害①； 浮腫、充血、うっ血、塞栓症、梗塞
10	循環障害②； ショック、高血圧、DIC
11	腫瘍①； 腫瘍の定義・分類、転移、腫瘍の原因・発生
12	腫瘍②； 腫瘍の診断・治療、がんの予防、各臓器の腫瘍
13	感染症； 病原体、各種感染症
14	老化と死； 老化、死の判定、緩和医療
15	試験

**【テキスト・指定図書】**

大橋健一他: 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学、医学書院

**【科目名】 人体とくすり 【1単位】 【30 時間】 【1年生】****【科目目標・概要】**

- 1 人体に作用する薬物の薬理作用、薬物相互作用、個人差、副作用を学び、生体に与える影響を理解する。
- 2 病態から薬物療法の有効性、安全性、薬物動態を学習し、チーム医療での適正使用を理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	薬理学総論1 1) 薬物による病気の治療 2) 薬理学の基礎知識 3) 薬が作用する仕組みと体内挙動
2	薬理学総論 2 1) 薬物相互作用と個人差 2) 薬物の有益性と危険性 3) 薬の管理
3	呼吸器疾患の薬物療法1 1) 喘息・COPD と治療薬 2) 末梢での神経活動に作用する薬物
4	呼吸器疾患の薬物療法 2 1) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 2) 肺炎と抗感染症薬
5	循環器疾患の薬物療法 1 1) 高血圧症と治療薬、利尿薬 2) 狭心症と治療薬
6	循環器疾患の薬物療法 2 1) 心不全と治療薬 2) 脂質異常症治療薬
7	糖尿病と骨粗しょう症の薬物療法 1 1) 糖尿病と治療薬
8	糖尿病と骨粗しょう症の薬物療法 2 1) 骨粗鬆症と治療薬
9	消化器・生殖器疾患の薬物療法 1 1) 消化器疾患と治療薬
10	消化器・生殖器疾患の薬物療法 2 1) 生殖器系に作用する薬物神経
11	精神疾患の薬物療法 1 1) 催眠薬・抗不安薬 2) 抗精神病薬 3) 抗うつ薬
12	神経精神疾患の薬物療法 2 1) パーキンソン病と治療薬 2) 認知症と治療薬
13	がん・疼痛の緩和治療1 1) がんとがん治療薬
14	がん・疼痛の緩和治療 2 2) 疼痛緩和
15	試験

**【テキスト・参考書】**

吉岡充弘他:系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[3] 薬理学、医学書院  
井上智子他:系統看護学講座 別巻 臨床薬理学、医学書院

## 【科目名】 診断と治療 【1単位】 【30時間】 【1年生】

### 【科目目標・概要】

疾病の診断や治療に用いられる麻酔、臨床検査、画像診断、食事療法の基礎的知識を学ぶ。

- 1 麻酔では、外科的治療で用いる麻酔の種類・方法を学ぶ。
- 2 臨床診断における各検査の目的、意義を学び、看護に活用するための基礎を身につける。
- 3 放射線の基礎的知識である放射線検査・治療の目的、内容、方法を学び、看護に活用するための基礎を身につける。
- 4 食事療法の意義と実際、チーム医療の中での活動について学び看護に役立てる。

### 【授業計画】

回	学習内容
<b>単元名:麻酔</b>	
1	麻酔の種類と方法、合併症
2	全身麻酔の経過と作用機序、薬剤
3	気道管理トレーナーを用いた挿管介助の演習
4	まとめ
<b>単元名:臨床検査</b>	
5	臨床検査概論
6	病気の起こり方
7	疾患からみた臨床検査
<b>単元名:画像診断</b>	
8	放射線医学総論
9	CT
	MRIと超音波
10	核医学
	IVR・血管造影
11	放射線治療と被曝
<b>単元名:食事療法</b>	
12	食事摂取基準、病態別食事療法①
13	病態別食事療法②
14	病態別食事療法③
15	栄養サポートチームについて
	試験

### 【テキスト・指定図書】

池上 徹 編:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論、医学書院

奈良 信雄 編:系統看護学講座 別巻 臨床検査、医学書院

尾尻 博也他:系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学、医学書院

小野章史他:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔3〕 栄養学、医学書院

## 【科目名】 疾病治療論Ⅰ 【1単位】 【30時間】 【2年生】

### 【科目目標・概要】

内科系領域における疾病に関する知識を学び、疾病を持つ人々への個別な看護を展開するために必要となる専門的な基礎知識とする。

- 1 呼吸器系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 循環器系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

外科系領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ人々への看護を展開するために必要な基礎とする。

- 1 呼吸器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 循環器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

### 【授業計画】

回	学習内容
<b>単元名:呼吸器内科</b>	
1	呼吸器系の解剖・生理について
2	呼吸器感染症
3	間質性肺疾患・肺癌
4	気管支喘息・COPD
5	呼吸不全の病態生理と治療
<b>単元名:呼吸器外科</b>	
6	呼吸器系疾患の病態と診断・治療・検査
7	気胸・縦隔腫瘍
8	原発性肺癌
<b>単元名:循環器内科</b>	
9	循環器の解剖と生理の理解
10	心不全の診断と治療、ECG
11	「身体診察シミュレーター人形」演習
12	狭心症と心筋梗塞の診断と治療、ECG
13	大動脈解離、弁膜症、高血圧、ECG、PTCA
<b>単元名:循環器外科</b>	
14	循環器系疾患の病態と診断・治療・検査
15	心臓弁膜症、解離性大動脈瘤
16	試験

### 【テキスト・指定図書】

北川 雄光編:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論、医学書院

浅野 浩一郎他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器、医学書院

吉田 俊子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器、医学書院

## 【科目名】 疾病治療論Ⅱ 【1 単位】 【30 時間】 【2年生】

### 【科目目標・概要】

内科系領域における疾病に関する知識を学び、疾病を持つ人々への個別な看護を展開するために必要となる専門的な基礎知識とする。

- 1 消化器系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 内分泌・代謝系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

外科系領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ人々への看護を展開するために必要な基礎とする。

- 1 消化器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 内分泌・代謝系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

### 【授業計画】

回	学習内容
<b>単元名：消化器内科</b>	
1	消化器系の形態と機能
2	消化器系の検査と治療
3	肝・胆・膵疾患の病態と治療
4	消化器系疾患の症状・症候
5	消化器系疾患の症状・症候
6	消化器系疾患の症状・症候
<b>単元名：消化器系外科</b>	
7	食道・胃疾患の病態と診断・治療・検査 胃癌、食道癌
8	肝・胆・膵疾患の病態と診断・治療・検査 肝臓癌、胆石症、膵臓癌
9	大腸・直腸・肛門疾患の病態と診断・治療・検査 大腸癌、人工肛門造設術
<b>単元名：内分泌・代謝内科</b>	
10	糖尿病 診断基準 糖尿病合併症
11	糖尿病治療
12	内分泌 検査方法 甲状腺疾患
13	下垂体ホルモン 脂質異常症
<b>単元名：内分泌・代謝外科</b>	
14	内分泌系・乳腺疾患の病態と診断・治療・検査
15	乳癌、甲状腺腫瘍(クリーゼも含む)
16	試験

### 【テキスト・指定図書】

- 南川 雅子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器、医学書院  
黒江 ゆり子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝、医学書院  
北川 雄光編:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論、医学書院

## 【科目名】 疾病治療論Ⅲ 【1 単位】 【30 時間】 【2年生】

### 【科目目標・概要】

内科系領域における疾病に関する知識を学び、疾病を持つ人々への個別な看護を展開するために必要となる専門的な基礎知識とする。

- 1 脳神経系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

外科系領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ人々への看護を展開するために必要な基礎とする。

- 1 脳神経系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 運動器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 3 歯・口腔疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

### 【授業計画】

回	学習内容
<b>単元名：脳神経内科系疾病</b>	
1	神経症候学
2	頭痛・虚血性脳血管障害
3	てんかん・神経変性疾患・脱髄疾患 他
4	認知症
<b>単元名：脳神経外科系疾病</b>	
5～8	脳神経系疾患の病態と診断・治療・検査 脳の症候学、頭部外傷、 脳血管障害、脳腫瘍、 意識状態の評価
<b>単元名：運動器系疾病</b>	
9～13	運動器系疾患の病態と診断・治療・検査 脱臼、骨折、変形性関節症、 骨腫瘍、脊髄損傷、 椎間板ヘルニア、関節リウマチ、 骨粗鬆症 固定法、牽引法、装具・義肢
<b>単元名：歯・口腔外科系疾病</b>	
14	歯・口腔疾患の病態と診断・治療・検査
15	歯周疾患、顎骨の外傷、口腔領域の悪性腫瘍(舌癌) 口腔ケア、義歯、顎間固定
16	試験

### 【テキスト・指定図書】

井手 隆文他：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経、医学書院

北川 雄光編：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論、医学書院

田中 栄他：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器、医学書院

渋谷 絹子他：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[15] 歯・口腔、医学書院

## 【科目名】 疾病治療論Ⅳ 【1 単位】 【30 時間】 【2年生】

### 【科目目標・概要】

内科系領域における疾病に関する知識を学び、疾病を持つ人々への個別な看護を展開するために必要となる専門的な基礎知識とする。

- 1 腎系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 免疫・アレルギー系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 3 血液・造血器系疾病の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

外科系領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ人々への看護を展開するために必要な基礎とする。

- 1 泌尿器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 2 女性生殖器系疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

### 【授業計画】

回	学習内容
<b>単元名:腎系疾病</b>	
1～3	腎臓の解剖と生理、 腎臓疾患の一般症状と検査腎臓疾患 (腎不全、腎炎等)の診断と治療
<b>単元名:泌尿器系疾病</b>	
4～6	泌尿器系疾患の病態と診断・治療・検査 排尿・尿量の異常、尿路感染症、 腎・尿管結石、前立腺腫瘍、膀胱癌、腎移植
<b>単元名:女性生殖器疾病</b>	
7～9	女性生殖器系疾患の病態と診断・治療・検査 月経の生理と異常、不妊症、子宮筋腫、子宮癌、卵巣癌、卵巣嚢腫、STD、 排卵誘発法、人工授精 体外受精麻酔の種類と方法、合併症
<b>単元名:免疫・アレルギー系疾病</b>	
10・11	アレルギー疾患及び膠原病の原因・診断・治療
<b>単元名:血液・造血器系疾病</b>	
12～15	血液疾患の症候学 造血器腫瘍
16	試験

### 【テキスト・指定図書】

- 今井亜矢子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器、医学書院  
末岡 浩他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器、医学書院  
岩田 健太郎他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染症、医学書院  
飯野 京子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器、医学書院

**【科目名】 疾病治療論Ⅴ 【1単位】 【15時間】 【2年生】****【科目目標・概要】**

外科系領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ人々への看護を展開するために必要な基礎とする。

感覚器系疾患(耳鼻咽喉・眼・皮膚)の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
<b>単元名:感覚器(耳鼻)</b>	
1~3	耳鼻咽喉疾患の病態と診断・治療・検査 中耳炎、メニエール病、特発性難聴、慢性副鼻腔炎、口蓋扁桃炎、アデノイド、咽頭・喉頭癌
<b>単元名:感覚器(眼)</b>	
4・5	眼疾患の病態と診断・治療・検査 白内障、緑内障、網膜剥離、眼底出血、流行性角結膜炎
<b>単元名:感覚器(皮膚)</b>	
6~8	皮膚疾患の病態と診断・治療・検査 発疹の症状と分類、湿疹、皮膚炎群、蕁麻疹、紅斑症、母斑、皮膚の悪性腫瘍、梅毒
9	試験

**【テキスト・指定図書】**

小松 浩子他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉、医学書院

大鹿 哲郎他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼、医学書院

渡辺 晋一他:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[12] 皮膚、医学書院

**【科目名】 小児・母性疾病治療論 【1 単位】 【30 時間】 【2年生】**

**【科目目標・概要】**

- 1 小児および母性領域における疾病に関する基礎知識を学び、疾病を持つ子どもや妊娠から産褥期を正常に経過しない女性への看護を展開するために必要な基礎とする。
- 2 出生前・新生児期から小児期に多い疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。
- 3 妊娠・分娩・産褥期の疾患の症状、病態メカニズム、診断、治療について理解する。

**【授業計画】**

回	学習内容
<b>単元名:小児疾病治療論</b>	
1	出生前・新生児総論・先天異常
2	内分泌・代謝系疾患の病態と診断・治療・検査 低身長症、巨人症、1型糖尿病、アセトン血性嘔吐症
3	呼吸器・アレルギー・免疫系疾患の病態と診断・治療・検査 急性鼻・咽頭炎、急性扁桃炎、クループ症候群、急性気管支炎、肺炎、気管支喘息
4	感染症の病態と診断・治療・検査 麻疹、水痘
5	循環器系疾患の病態と診断・治療・検査 心室中隔欠損症、ファロー四徴症、乳幼児突然死症候群、川崎病
6	消化器系疾患の病態と診断・治療・検査 腸管閉塞症、ヒルシュスプルング病、肥厚性幽門狭窄症、食道閉鎖、鎖肛、胆道閉鎖
7	血液・造血器、腫瘍性疾患の病態と診断・治療・検査 特発性血小板減少性紫斑病、小児白血病、髄芽腫、ウィルムス腫瘍
8	腎・泌尿器系疾患の病態と診断・治療・検査 急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群
9	精神・事故・虐待
10	神経系疾患の病態と診断・治療・検査 てんかん、髄膜炎、筋ジストロフィー
<b>単元名:母性疾病治療論</b>	
11~15	妊娠期の疾患(異常妊娠)の病態と診断・治療・検査 流産、妊娠高血圧症候群、子宮外妊娠 分娩期の疾患(異常分娩)の病態と診断・治療・検査 陣痛異常、児頭骨盤不均衡(CPD)、骨盤位分娩、前置胎盤、産科手術 産褥期の疾患(異常産褥)の病態と診断・治療・検査 子宮復古不全、乳腺炎
16	試験

**【テキスト・指定図書】**

奈良間 美保他:系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論、医学書院  
 奈良間 美保他:系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論、医学書院  
 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論、医学書院

**【科目名】 精神疾病治療論 【1 単位】 【15 時間】 【2年生】**

**【科目目標・概要】**

精神疾患を学んで、精神障害者への理解と援助ができる。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	総論、睡眠障害
2	不安障害、強迫性障害、PTSD、身体症状症
3	うつ病、躁うつ病
4	統合失調症
5	摂食障害、パーソナリティ障害、アルコール依存症
6	児童・青年期、発達障害
7	リエゾン・コンサルテーション(せん妄など)、認知症
8	試験

**【テキスト・指定図書】**

武井 麻子他:系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕 精神看護の基礎、医学書院

**【科目名】 医療概論 【1 単位】 【15 時間】 【1 年生】**

**【科目目標・概要】**

医療全体を見渡し、すべての教科につながる基礎知識を学び、将来医療を実践する心構えを身につける。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	生きることと死ぬこと QOL、健康とは、認知症、終末期
2	医学と医療 医学の歴史、臨床疫学とEBM
3	保健・医療・介護 1 社会環境の変化、社会保障制度、感染症
4	保健・医療・介護 2 生活習慣病、医療システム
5	保健・医療・介護 3 救急医療、がん治療、チーム医療、リハビリ
6	医療と社会 医の倫理、医療安全、最先端医療
7	医療経済学と医療政策 医療の特殊性、国民皆保険制度、医療の質
8	試験

**【テキスト・指定図書】**

康永秀生：系統看護学講座 基礎専門分野 健康支援と社会保障制度① 医療概論、医学書院

**【科目名】 チーム医療論 【1単位】 【15時間】 【1年生】**

**【科目目標・概要】**

チーム医療の概念と実際について学び、保健医療福祉における専門職の種類と役割が理解できる。

**【授業計画】**

回	学習内容
1・2	チーム医療の概念、意義、歴史と現状、 チーム医療に関わる専門職とそれぞれの資格・役割、職種の機能 代表的なチーム医療 臨地見学オリエンテーション
3～5	チーム医療における多職種の役割と連携の実際 栄養士 薬剤師 診療放射線技師 臨床工学技士 理学療法士 臨床検査技師 等
6	見学後の情報共有、発表準備
7・8	発表・学びの共有 「対象とその家族が望む生活」を目指し、医療チームで支援するとは

**【テキスト・指定図書】**

茂野 香おる他:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕 看護学概論、医学書院

上泉 和子他:系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践〔1〕 看護管理、医学書院

**【科目名】 リハビリテーション論 【1単位】 【15時間】 【2年生】****【科目目標・概要】**

健康を支援する医療チームの一員として協働できるよう看護師の役割を自覚し、援助を展開するための基礎的知識・技術を学ぶ。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	リハビリテーション概論
2	運動器系の障害
3	関節可動域・筋力測定の実際(自動・他動運動の援助)
4	脳神経系の障害
5	摂食嚥下機能の障害
6	呼吸・循環器系の障害(体位ドレナージ)
7	ADL評価とアプローチの実際(片麻痺患者の車椅子移乗)
8	試験

**【テキスト・指定図書】**

原 三紀子他:系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護、医学書院

**【科目名】 公衆衛生学 【1単位】 【15 時間】 【3年生】****【科目目標・概要】**

公衆衛生活動の基本的内容や生活者の健康保持増進に対応した法制度と保健活動の進め方や環境の総合的な理解をすることで、保健医療チームの一員として、その役割を認識することができる。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	健康と予防の概念、健康と環境
2	人口統計、健康と保健統計
3	感染性疾患
4	非感染性疾患、地域保健、成人保健、医療保険制度
5	母子保健、学校保健
6	高齢者保健福祉、介護保険制度
7	精神保健、難病、産業保健
8	試験

**【テキスト・参考書】**

神馬征峰他: 健康支援と社会保障制度【2】 公衆衛生、医学書院  
厚生指針 国民衛生の動向、厚生労働統計協会

**【科目名】 看護と法律 【1単位】 【15時間】 【3年生】****【科目目標・概要】**

保健医療福祉に従事する専門職として、看護師の役割を正しく認識し、質の高い看護を提供するために、医療や衛生に関する関係法令を学ぶ。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	法の概念及び看護師の法的・社会的責任
2	保健師助産師看護師法
3	医師法・医療法等(1)
4	医師法・医療法等(2)
5	薬事法・薬剤師法
6	保健衛生法
7	患者の権利とインフォームドコンセント 医療事故と法的責任
8	試験

**【テキスト・参考書】**

森山 幹夫:系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔4〕 看護関係法令、医学書院

**【科目名】 社会保障論 【1単位】 【15時間】 【3年生】**

**【科目目標・概要】**

1. 目標

- ①医療保険・介護保険・年金保険・労働保険の各制度について、その仕組みや概要を理解する
- ②生活保護や社会福祉制度の仕組みやその特徴を理解する

2. 概要

介護サービスを受ける、年金を受給する、仕事中のケガに対する補償をもらう、子どもを保育所に入所させる、これらを行うにはどうしたらよいのだろうか。このような社会保険や社会福祉の制度の基礎を学ぶとともに、これらに関する重要な論点について具体的な事例をもとに考える。

**【授業計画】**

回	学習内容
1	社会保障、社会福祉とは何か
2	医療保険
3	介護保険・高齢者福祉・高齢者医療
4	年金保険
5	労働保険
6	公的扶助—生活保護法
7	児童福祉・障害者福祉
8	試験

**【テキスト・指定図書】**

福田素生他:系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③、医学書院